

上智大学国連Weeks シンポジウム

緊急時における教育支援 人道支援NGOの役割とこれから



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

2017.6.8 thu

17:00 - 19:00 (Door Open 16:30)

上智大学四谷キャンパス2号館 国際会議場

Part 1

クロストーク「シリアのいま:これまでの教育、これからの教育」

Part 2

パネル・ディスカッション「緊急時の教育支援とキャリアとしてのNGO」

難民を助ける会 (AAR)

シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ)

ジャパン・プラットフォーム (JPF)

世界で教育を受けていない学齢期の子どもの半数は、紛争や自然災害に影響を受けた社会に住んでいる。

世界各地で続く紛争や突然起こりうる自然災害は、持続可能な開発目標(SDGs)の一つ「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことを実現する上で、大きな障壁となっている。

子どもたちの安全・生活を守り、健全な成長を促し、長期的な社会の発展を担う次世代の育成を担うのが教育である。そして、紛争や災害などの人道危機に際し、迅速に学びの機会を提供しうるのが非政府組織(NGO: Non-Governmental Organization)である。

本シンポジウムでは、緊急時の教育支援をテーマに、人道支援NGOの現在について理解を深め、その可能性と課題を議論する。また、人道支援の意義やキャリアとしてのNGOの仕事について理解を深める機会としたい。

主催:上智大学国際協力人材育成センター

後援:ジャパン・プラットフォーム、JNNE(日本教育協力NGOネットワーク)

参加申込みはこちらからどうぞ

<https://eipo.jp/sophia/seminars/>

要事前申込 / 入場無料



上智大学国連Weeksシンポジウム 「緊急時における教育支援 - 人道支援NGOの役割とこれから」

日時: 2016年6月8日(木) 17:00-19:00 会場: 上智大学四谷キャンパス2号館国際会議室
主催: 上智大学国際協力人材育成センター
後援: ジャパン・プラットフォーム、JNNE(日本教育協力NGOネットワーク)

プログラム

Part 1 クロストーク「シリアのいま: これまでの教育、これからの教育」

ラガド・アドリー 氏 難民を助ける会(AAR Japan) スタッフ
小松 太郎 教授 総合人間科学部教育学科

Part 2 パネル・ディスカッション「緊急時の教育支援とキャリアとしてのNGO」

五十嵐 豪 氏 難民を助ける会(AAR Japan) プログラム・マネージャー
山本 英里 氏 シャンティ国際ボランティア会(SVA) 事業サポート課長、アフガニスタン事務所長
塩畑 真里子 氏 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ) 海外事業部部長代行
鈴木 さおり 氏 元ジャパン・プラットフォーム(JPF) NGO能力強化研修事業オフィサー
モデレーター: 小松 太郎 教授 総合人間科学部教育学科



要事前申込/入場無料

参加申込みは
こちらからどうぞ

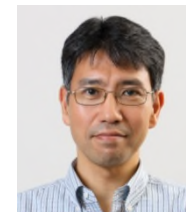


<https://eipo.jp/sophia/seminars/>



ラガド・アドリー
Raghad ADLI
AAR Japan
[難民を助ける会]
スタッフ

シリア、ダマスカス生まれ。ダマスカス大学日本語学科を卒業。2010年に千葉大学へ1年間留学。紛争が激化する中、NGOのシリア赤新月社でボランティア活動や給水衛生プロジェクトを担当。2017年から、難民を助ける会に勤務。家族はシリアを追われ難民としてトルコに暮らしている。



小松 太郎
Taro KOMATSU
上智大学
総合人間科学部
教育学科/教授

ロンドン大学LSE修士、米国ミネソタ大学博士(教育政策・行政)。JICAパキスタン事務所、ユネスコ・バリ本部教育局、国連コンボ・ミッション教育局、ユネスコ・サラエボ事務所、九州大学准教授を経て現職。編著に『途上国世界の教育と開発: 公正な世界を求めて』など。



五十嵐 豪
Go IGARASHI
AAR Japan
[難民を助ける会]
プログラム・
マネージャー

東日本大震災やフィリピン台風ハイエン等の自然災害の発生地、シリアやアフガニスタン等の紛争地において緊急人道支援に従事。「人道支援の質とアカウンタビリティ」「心理的応急処置」他の認定トレーナー。立教大学非常勤講師。



山本 英里
Eri YAMAMOTO
シャンティ国際
ボランティア会(SVA)
事業サポート課長、
アフガニスタン事務所長

2001年にインターンとしてSVAタイ事務所に入職。ユニセフ・アフガニスタン事務所に出向。2003年から、アフガニスタン、パキスタン、ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ支援、カンボジア、ネパールにて教育支援活動に従事し、現在東京事務所本部事業サポート課 課長。



塩畑 真里子
Mariko SHIOHATA
セーブ・ザ・チルドレン・
ジャパン(SCJ)
海外事業部部長代行

低所得国の教育制度や質改善のためのアセスメントを専門とし、これまで基礎教育の質の改善、教員のキャパシティ開発事業に従事。近年は、ミャンマー・カレン州の難民の教育や中東地域の緊急下の教育について事業形成や実施に関わっている。



鈴木 さおり
Saori SUZUKI
元ジャパン・
プラットフォーム
NGO能力強化研修事業
オフィサー

外資系航空会社の国際線客室乗務員として9年間勤務。帰国後、民間企業での勤務を経て、埼玉大学で国際関係論(開発援助学専攻)学位取得。米国企業財団インターンでNPOリーダーシップ&マネジメントを学ぶ。2013年から2017年5月までジャパン・プラットフォームにて、NGO能力強化プログラムを担当。